

# 大田市森林組合通信

(題字 竹腰創一 大田市長)

平成22年  
8月  
第65号



ハーベスタによる枝払・造材



フォワーダによる短幹材運搬

## 組合通信発行にあたって

代表理事組合長 神谷光夫

この度の役員改選に当たり、五月二十八日に開催された理事会において、不肖私が代表理事組合長に選任されました。今後三カ年全力で任務を遂行する覚悟で職務に当たりますので宜しくお願い申し上げます。

また、本年度からは常務体制を採り、常務には事務方をお願いし、私は現場に力を傾注したいと思っておりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、森林・林業を巡る状況を見ますと、昨年五月には緊急経済対策として補正予算において「森林整備加速化・林業再生事業」が決定されました。

九月に誕生した鳩山政権は、「コンクリート社会から木の社会へ」との構想を掲げ、強い林業の再生と木材安定供給体制の構築や低炭素社会創りを目指した「森林・林業再生プラン」を発表しました。

こうした中で、国の緊急対策関連事業や管外の造林事業の受注等により、販売・森林整備・利用事

業ともに、当初計画を上回る結果となりました。

年度当初の役員会等において出資配当を目指す旨を表明しておりましたが、おかげ様で目的を達成することができました。

これもひとえに組合員各位のご支援、島根県・大田市等各関係機関のご指導並びに作業班員の皆様のご協力のお陰であります。深く感謝致しますとともに、今後とも一層のご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

通常総代会において二十二年度の事業計画が承認されました。本年度は大変厳しい運営になると思いますが、当組合では、中長期計画に沿い、路網整備と木材生産団地設定・集約化と搬出間伐推進のための人材育成を実施することにしていきます。

また、本年も無事故を重点的目標として取り組みたいと思っております。

最後になりましたが、今日までご尽力いただきました旧役員の皆様には厚くお礼申し上げます。

【森林組合系統の新ロゴマーク】

**JForest**  
(J Forest: ジェイフォレスト)

発行 大田市森林組合

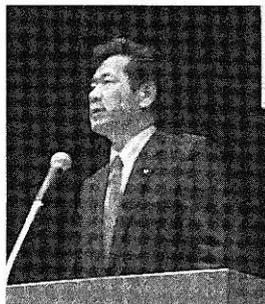
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1047番地3  
TEL (0854)82-8500 FAX (0854)82-8013  
E-mail mail@oda-fc.com 有線 2035-2

平成二十二年度  
通常総代会開催

提出議案承認決定

五月二十八日サンレディ大田において、平成二十二年度大田市森林組合通常総代会を開催しました。

竹腰創一大田市市長、石橋秀利市議会議長様をはじめ多数のご来賓のご列席をいただき、総代二〇四名(内、書面議決六十一名、代理人二名)の出席を得て、議長に温泉津町中西義昭氏を選任して議事に入り、提出した議案はいずれも原案どおり可決承認されました。



竹腰市長

なお、平成八年度決算以来の実施となる出資配当金は、資本強化のため出資金に振り向けさせていただくことに決定されました。



中西義昭氏

提出議案

- 第一号議案 平成二十一年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
- 第二号議案 平成二十二年度事業計画設定について
- 第三号議案 諸手数料決定について
- 第四号議案 借入金金の最高限度決定について
- 第五号議案 一組合員に対する貸付金の最高限度決定について
- 第六号議案 余裕金預け入れ先決定について
- 第七号議案 平成二十二年度役員報酬決定について
- 第八号議案 役員選任について
- 付帯決議事項 本議案の決議事項について、行政庁の指示等による軽微な修正は理事事に一任する。

I. 貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位: 円)

資産の部	金額	負債・純資産の部	金額
現金・預金	59,177,403	買掛金	4,657,522
受取手形	993,040	未払金	105,269,518
売掛金	2,380,577	未払法人税等	17,887,100
棚卸資産	5,750,965	賞与引当金	1,767,799
前払費用	913,302	前受金	2,573,405
未収金	286,490,348	預り金	3,593,718
仮払金	1,310,000	受託販売預り金	2,952,027
立替金	537,951	未払消費税	844,200
長期預け金	235,574	流動負債計	139,545,289
流動資産計	357,789,160	長期借入金	1,390,000
減価償却資産	23,588,604	退職給付引当金	33,120,565
土地	34,458,102	農林漁業資金借入金	11,299,304
森林	18,942,666	固定負債計	45,809,869
電話加入権	135,022	負債合計	185,355,158
システム出資金	15,364,000	出資金	111,715,200
システム外出資金	456,000	法定準備金	34,567,732
農林漁業資金貸付金	10,103,552	任意積立金	97,579,457
リサイクル預託金	137,630	当期末処分剰余金	27,117,683
固定資産計	103,185,576	資本準備金	4,639,506
		純資産合計	275,619,578
合計	460,974,736	合計	460,974,736

II. 損益計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)  
(単位: 円)

科目	金額
事業収益	440,704,590
事業費用	310,556,654
事業総利益	130,147,936
事業管理費	92,331,355
事業利益	37,816,581
事業外収益	4,239,945
事業外費用	2,866,828
事業外損益	1,373,117
経常利益	39,189,698
特別利益	8,165,000
特別損失	8,017,524
特別損益	147,476
税引前当期純利益	39,337,174
法人税、住民税及び事業税額	16,500,000
当期剰余金	22,837,174
前期繰越剰余金	4,280,509
当期末処分剰余金	27,117,683

(部門別損益計算書)

(単位: 円)

部門	収益	費用	損益
指導	240,400	1,360,345	-1,119,945
販売	2,812,241	623,490	2,188,751
森林整備	437,651,949	308,572,819	129,079,130
森林整備利用	244,722,199	176,673,088	68,049,111
林地供給	180,713,567	121,498,037	59,215,530
福利厚生	40,000	0	40,000
購買(事業物資)	31,787	0	31,787
購買(生活物資)	11,294,423	9,775,788	1,518,635
金融	57,580	48,620	8,960
	792,393	577,286	215,107
合計	440,704,590	310,556,654	130,147,936

III. 平成21年度剰余金処分について

1. 当期末処分剰余金 (単位: 円)  
 前期繰越剰余金 4,280,509  
 当期剰余金 22,837,174  
 合計 27,117,683

2. 剰余金処分額  
 法定準備金 5,000,000  
 任意積立金(損失補填積立金) 7,000,000  
 出資配当金(出資金の3%) 3,347,900  
 合計 15,347,900

3. 次期繰越剰余金 11,769,783

脚注 1. 出資配当金は300円を1口として出資金に振り替え、1口300円に満たない額は出資預り金とする。  
 2. 次期繰越剰余金のうち教育情報資金は、1,200,000円である。

平成二十一年度事業報告

事業活動の概況(抜粋)

一昨年の世界的な金融危機から発した世界同時不況の影響から脱しえないまま、景気も二番底がやってくるとの懸念も強まり、日本国及び都道府県などの地方自治体の財政は、税収の不足など一層厳しくなっています。

一方、森林・林業を巡る状況を見ますと、昨年五月の緊急経済対策としての二十一年度補正予算では、林野事業では最も大きな予算である「森林整備加速化・林業再生事業」が決定され、また九月に誕生した鳩山政権は、「コンパクト社会から木の社会へ」とのテーマの下、強い林業の再生、木材安定供給体制の構築や低炭素社会創りを目指した「森林・林業再生プラン」を発表しました。

こうした中、二十一年度の運営の基本方針で示したように、充実しつつある地域の森林資源を有効かつ循環的に活用するために、団地化による施業の集約化を柱として①基盤整備の拡充②人材の育成を重点的に推進し、計画どおりの

成果をあげることができました。

事業収支については、国の緊急経済対策関連事業や管外の造林事業の受注などにより販売、森林整備、利用事業ともに当初計画を上回ることができました。これらの損益を計画対比の数字で見ますと、販売部門で九二三千円増の一七三%、森林整備事業で一三、七三七千円増の一二五%、利用事業で二一、二三八千円増の一五六%、事業総損益で三六、二三八千円増の一三九%という結果でした。

この厳しい経済状況のなかで赤字決算ができましたことは、これも偏に組合員各位のご協力と島根県及び大田市並びに関係諸機関各位のご指導ご支援の賜物であります。深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

平成二十二年度事業計画

運営の基本方針(抜粋)

農林水産省では、今後十年間を用途に、路網の整備、森林施業の集約化及び必要な人材育成を軸として、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりを進めるとも

に、木材の安定供給と利用に必要な体制を構築し、我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針として、平成二十一年十二月十五日に「森林・林業再生プラン」を公表しました。

このプランの主な内容は、「目指すべき姿として近年の木材自給率二〇%を十年後には五〇%以上にする」としたもので、川上対策としての具体策は、①「低コストで壊れにくい路網の普及」②「路網の作設オペレーター等の養成」③「集約化・搬出間伐に向けた予算の集中化」④「集約化を進めるための人材育成」であります。

当組合としても地域の森林資源が充実しつつある中、森林資源を有効かつ循環的に活用するため、中・長期計画を作成し路網整備の徹底と、木材生産団地の設定及び集約化と搬出間伐を進めるための人材育成を重点的に実施することとしていきます。

これまで、先人たちが営々として育ててきた資源を大切に後世に残していくためにも、保育の最終段階である利用間伐は特に重要であります。地形、地質、気候、生育状況などが変化に富んだ日本では一律な施業はできず、それだけ

利用間伐には高度な理論と技術が必要であり、またそれらを習得しなければなりません。

そのため、役員及び作業班員は一体となって鋭意努力する所存でありますので、関係諸機関のご指導ご支援と組合員の皆様の格別なご協力をお願いします。

平成22年度 損益計画

(単位:千円)

部 門	収 益	費 用	損 益
指 導	10	1,456	△ 1,446
販 売	3,880	1,450	2,430
森 林 整 備	321,206	223,026	98,180
事業総損益	325,096	225,932	99,164
事業管理費		95,147	△ 95,147
事業外損益	3,880	3,480	400
特別損益	6,125	6,145	△ 20
法人税等		1,750	△ 1,750
当期剰余金			2,647

大田市森林組合役員名簿 平成22年5月28日現在

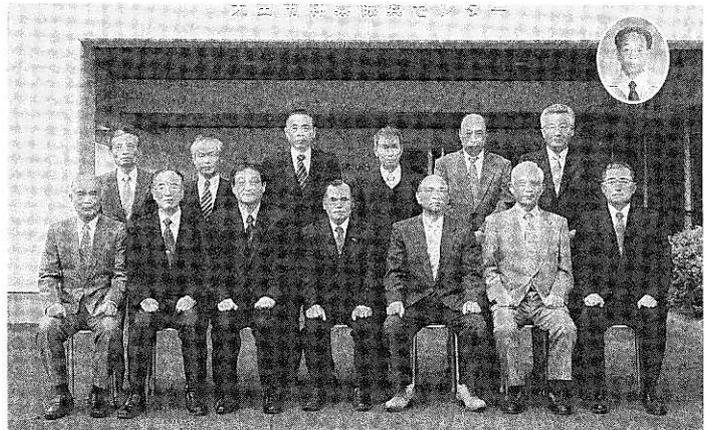
	ブロック	区域	住所	氏名	新・再 新任
理事 11名	中央	大田町・川合町	大田町	皆田 修司	新
			久利町	福田 政文	再
	高山	大森町・水上町 祖式町・大代町	大森町	中田 正敏	再
			北	長久町・鳥井町 静間町・五十猛町	鳥井町
	東	久手町・波根町	久手町	和田 義弘	新
			朝山町・富山町	富山町	神谷 光夫
	三瓶	三瓶町	三瓶町	中間 功	新
			山口町	久手町	古志 泰博
	温泉津	温泉津町	温泉津町	戸島長四郎	新
			温泉津町	福富 武敏	新
	仁摩	仁摩町	仁摩町	丸山 賢治	再
監事 3名	中央ブロック 高山ブロック		大田町	森山 俊則	新
	北ブロック・東ブロック 三瓶ブロック		三瓶町	谷口 清巳	再
	温泉津ブロック 仁摩ブロック		仁摩町	島田 良知	新

# 新役員体制

五月二十八日開催の通常総代会において、任期満了による役員の変更を行い、左表のとおり理事十一名、監事三名が承認されました。

今回は、平成二十一年度通常総代会において承認された定款変更に伴う役員定数による初めての役員改選でした。

総代会終了後の理事会・監事会において、代表理事組合長に神谷光夫理事（再任・非常勤）、常務理事に皆田修司理事（新任・常勤）、代表監事に森山俊則監事（新任）がそれぞれ選任されました。



# 就任挨拶

常務理事 皆田 修司

このたび常務理事に選任され、常勤理事としてその職務に当たることとなりました。

今日まで大田市森林組合は厳しい経済情勢下においても常に堅実な運営が維持されてまいりました。これは、昭和三十一年の発足以来、組合員及び歴代役職員の皆様の日々たゆみないご努力の積み重ねにより実現できてきたものと推察し、敬服いたしておりました。

このたびの役員改選により、現実に自らがその運営の一端を担う立場となり、改めてその責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

森林・林業を取り巻く環境は追い風の中にあるとの見方もありますが、木材価格の低迷にみられるように、林業が産業として自立するためにはまだまだ厚い壁が立ちふさがっているのが現状であります。

また、「森林・林業再生プラン」では、森林組合のあり方について、その根本から見直すといった動きも見られます。

大きく変革する国内外の情勢に対応し、組合員の地位向上、併せて地域の森林資源の造成に貢献するという森林組合本来の目的達成のため、役職員一丸となって取り組めるよう、微力ながら力を尽くしたいと考えております。

組合員各位の一層のご理解・ご協力をお願いし、就任のあいさつといたします。

# 永年勤続作業班員 作業班員特別表彰

五月二十八日開催の総代会の席上において、大田市森林組合作業班員表彰規程にもとづき永年勤続者に対し、表彰状と記念品を贈り、永年にわたる労をねぎらいました。

また、昨年十月に開催された第九回間伐競技会で優勝した秋森健太氏に特別表彰として表彰状と金一封を贈り、その功績を讃えました。

受賞された方は次の八名の皆さんです。おめでとうございました。

# 表彰者

勤続三十年表彰

富山町 三登 芳己

勤続十年表彰

山口町 山本 典男  
 三瓶町 竹内 謙  
 大田町 楯 隆彦  
 久手町 高野 昌也  
 三瓶町 松田 敏彦  
 大田町 本村 貴博  
 大田町 秋森 健太

特別表彰



大田市森林組合  
 長期経営計画策定

大田市森林組合では、平成二十年度総代会において平成二十二年度までの経営計画が承認されましたが、昨年末に「森林・林業再生プラン」が公表されたことに

伴い、新たに平成三十年度を目標年度とする長期経営計画を策定することといたしました。策定作業の後、五月十三日の理事会において承認されましたので、その概略を報告いたします。

【現状と課題】

大田市森林組合の過去三カ年の平均総事業損益の内訳をみると、請負造林事業が五四%、建設事業の下請け及び県・市の利用事業が三四%、計八八%を公共関連の事業が占めており、国や地方の財政が逼迫する中、これらの事業は確実に減少すると思われる。

一方、森林所有者は経営意欲が減退しており、森林資源が充実する中、組合員の経済的地位向上のためにも利用間伐事業を含めた林産事業へ事業シフトしていかねければならない。

しかし、木材価格が低迷している現在、それなりの収入を得るためには、いかに低コストで木材を伐採・搬出するかにかかっているが、当地域では低コスト生産に欠かせない林内路網密度が低く、また一人当たりの所有面積が小さく、人工林率も低いなど不利な条件下にある。さらには、高齢化が

進み、事業実施に不可欠である境界の確定が困難になるおそれがある。

【経営計画方針】

- 一、利用間伐事業を主体とした利益還元  
 具体的には、施業集約化による効率的生産システムの構築
- 二、施業プランナーと基幹的作業員の育成確保
- 三、作業道・機械設備の拡充による事業コストの削減
- 四、山林不明境界の解消

【計画達成のための手段と数値目標】

- 一、地区座談会の開催等により施業集約化の推進を図り、併せて施業提案を行う。

① 利用間伐生産量  
 一万九六〇<sup>3</sup>m

② 利用間伐面積  
 二〇〇ha

③ 木材生産団地数  
 二十団地(三千ha)

- 二、各種研修会等に積極的に参加し、役員・作業班員の資質向上を図る。

① 素材生産専門班  
 三班体制

三、作業道・機械設備の拡充による事業コストの削減を図る。

- ① 作業路 二万四千m開設
- ② 作業道九千六〇〇m開設
- ③ フォワード

一台導入(日二十二)

四、山林境界について各種補助事業の導入により境界確定を行う。

- ① 二十三年度まで  
 毎年 一〇〇ha
- ② 三十年度まで  
 毎年 五〇ha



# 森林・林業再生プラン具体化へ

## 問われる森林組合の役割

### ①「森林・林業再生プラン」作成

農林水産省は昨年十月に政府・緊急雇用対策本部が示した「緊急雇用対策」を受け、昨年十二月に「森林・林業再生プラン」をコンクリート社会から木の社会へ」を作成しました。このプランでは、十年後の木材自給率五〇%以上を目指すべき姿としています。

そのための検討事項として次の三項目が挙げられています。

- ・ 林業経営・技術の高度化
- ・ 森林資源の活用
- ・ 制度面での改革、予算

それぞれに、森林組合の今後に影響を及ぼす項目であります。特に一項目目の林業経営・技術の高度化では、「地域の森林管理の主体としての森林組合の役割の明確化」をはじめ、森林組合運営体制の根幹にかかわる問題が提起されています。

### ②森林・林業基本政策検討委員会

#### 中間とりまとめ

『森林・林業再生プラン』を着実に推進するために農林水産大臣

を本部長とする「推進本部」が設置されました。あわせて、その下部組織として、制度面、実践面それぞれの具体的な対策の検討を行うため、外部有識者を含めた五つの検討委員会が立ち上げられ、二月から議論が始まりました。

六月十日には、制度的課題を検討している「森林・林業基本政策検討委員会」から論議の方向性を示した「森林・林業の再生に向けた改革の姿（中間とりまとめ）」とする中間報告が出されました。

この中では、以下の四点について見直しを段階的、有機的に推進するとしています。

- ・ 適切な森林施業が確実に行われる仕組みを整えること。
- ・ 広範に低コスト作業システムを確立する条件を整えること。
- ・ 担い手となる林業事業者や人材を育成すること。
- ・ 国産材の効率的な加工・流通体制づくりと木材利用の拡大を図ること。

二点目に挙げられている担い手

対策の中で、「森林組合改革、林業事業者の育成」として森林組合の役割の明確化が求められています。（詳細については林野庁ホームページをご参照下さい。）

### ③今後の実施スケジュール

森林・林業基本政策検討委員会は施策の骨格を検討してきましたが、中間報告後、施策の具現化を図るための手法の検討をし、十一月下旬には最終とりまとめをする予定となっております。

他の実践的課題への対応を検討している四つの委員会は、八月の二十三年度予算概算要求に向けて対応策を検討し、概算要求後は、事業実施に向け、要求内容の具体化を検討することとなっております。

また、各委員会での検討内容を踏まえて、年度内に「森林・林業基本計画」が策定される予定となっております。

### ④大田市森林組合における対応

『森林・林業再生プラン』の具体化までには、まだ紆余曲折があると思われませんが、いずれにしても、森林・林業政策の方向性が大きく変わることが予想されます。森林組合の役割及びあり方についても同様であり、事態の推移を注視するとともに、県・市及び関係

機関とさらに連携を深める中で、地域の森林・林業の振興・活用策及びその中の森林組合の役割、位置づけを具体的にしていく必要があると考えます。

組合員の皆様からのご意見・ご要望等をお待ちしております。

## 第九回

## 間伐競技会優勝！

平成二十一年十月二十五日、飯南町の公社造林地において第九回間伐競技会が開催されました。

この競技会は、伐倒技術の向上や安全作業の徹底を図るため、島根県公社造林推進協議会の主催で毎年行われていて、今回で二十五回目となります。

大会には、県内の森林組合や民間事業者から一チーム二名一組による十三チームが出場し、技術を競い合いました。

審査内容には、装備・服装及び伐倒の項目があり、高性能林業機械で集材することを前提に、列状に並んだ十本の木を制限時間内にいかに正確に（上方伐倒）かつ安全に伐倒するかで競われました。

大田市森林組合からは三浦班の秋森健太・清水敏志さんが出場し、見事に優勝という結果でした。

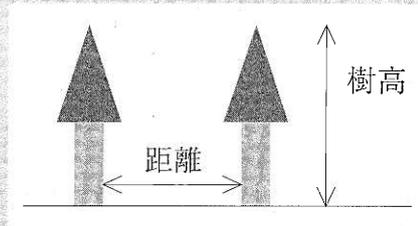
# あなたの山は大丈夫？

木が混みあい過ぎて、林内が真っ暗で、枝が枯れあがり、大きさがバラバラな状態は危険。さらには木材の価値が低下！

## ★混み具合を表す指標

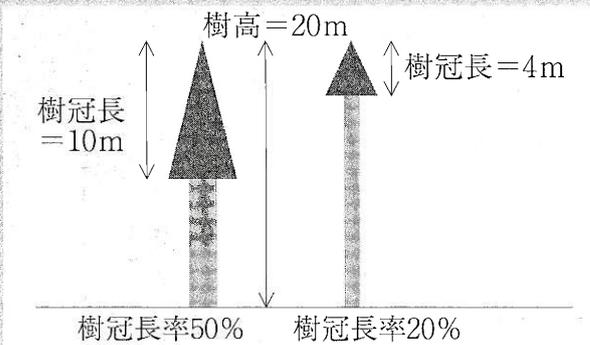
指標はいろいろありますが、相対幹距比が解りやすいと思います。樹高の17~22%が適切な幹と幹の間隔だと言われています。

(例) 平均樹高が20mの場合、適切な幹と幹の間隔は、3.4m~4.4m



## ★もうひとつ大事なものは樹冠長率(%)

樹冠長率(%) = 樹冠の長さ : 樹高 × 100



樹冠長率が20%以下になると間伐しても回復の可能性は少なく、気象災害に弱く、後生枝が発生して材質を低下させます。



平成21年1月の雪害：三瓶町  
35年生スギ  
成立本数 3,200本/ha

間伐の理想は！

樹冠長率30%以上50%を目指した密度管理

幹と幹の間隔は樹高の20%前後



秋森さん、清水さんご苦労様でした。

(清水さんは平成二十二年二月退職)  
これからは、今まで育ててきた林木を収穫する時代となります。木材搬出には効率を高めることが重要となりますが、そのためには、思い通りの方向に、安全に、しかもスピーディに伐倒する技術が不可欠です。  
大田市森林組合では、第七回競技会でも優勝するなど着実に技術者育成取り組みの効果が現れてきています。引き続き、人材育成に努め、質・量ともの充実を目指します。

## 保険は

ありがたい！

夢を繋げた森林保険

川合町 高橋佳孝

大田市に居着いて三十年になる、一念発起して約二十三町歩の山を買った。場所は大田市富山町才坂、クレー射撃場の丁度真裏に当たる。山を歩き、沢をまたぎ案内してもらい、緑の葉から出る酸素を胸いっぱい吸い込んだとき、その何とも言えない心地よさが気に入って購入したのである。

そんな道楽をするのも大田に何か足跡を残したいと思い、市民が集う里山づくりを実践してみたという気持ちがあったからだ。個人の持山といえども公共財の考えが適用される世の中。事業を取り入れ、細い杉など間伐整備を行い、少しずつだが林床に光が差し込むようになっていた。しかし、二〇〇九年冬、水分を多く含んだ重い雪のため、間伐で残した杉がすべて折れ・裂け・倒れてしまったのだ。

被害状況を見に山に行った時、無残な姿に声が出なかったことを今でも覚えている。しばらく気力

が出ずガツカリしていると、森林組合から保険金が出るとの連絡があった。すっかり忘れていたのだが、事業開始の折に、薦めに従って「森林国営保険」に入っていたのだ。急に元気が出てくるものがある。これを元手に、いろいろな機関との協働でこの山をフルに活用して、「高知の仁淀方式」でバイオマスエネルギーの地産地消の実践事業を行おうと思っている。やはり、もしものときの保険は大切であると身にしみて感じたところである。



# 島根県立農業大学校 森林管理科 学生募集!

農業大学校に森林管理科があるのをご存知ですか？森林管理科では、森林の管理や利活用、林業機械など、最新の知識と技術が学べます。また、就職後、即戦力として活躍できるように、専攻実習や先進農林業者体験学習も充実しています。

### 【入学試験の種類と出願期間】

種類	出願期間	入学検定日
出身学校長推薦入学試験	H22年9月27日～10月12日	H22年10月27日
一般入学試験	前期：H22年11月15日～11月30日 後期：H23年1月17日～2月1日	前期：H22年12月15日 後期：H23年2月16日
地域推薦入学試験 (※林業認定事業者の推薦)	H22年9月27日～H23年2月1日	随時 ※願書受付後10日以内に試験日を通知
自己推薦入学試験		

### 【取得できる資格・免許】

大型特殊自動車免許、フォークリフト運転技能講習修了証、小型移動式クレーン運転技能講習修了証、玉掛け技能講習修了証、車両系建設機械運転技能講習修了証(整地、運搬、積み込み及び掘削用)、機械集材装置運転者業務特別教育修了証、林業架線作業主任者講習修了証、チェーンソー作業従事者 特別教育修了証、刈払機取扱作業安全衛生教育修了証など

### 【詳しい問い合わせ先】

島根県立農業大学校 森林管理科 担当：宇山(うやま)、物部(ものべ)  
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207  
島根県中山間地域研究センター内  
TEL：0854-76-2100 FAX：0854-76-2103

## 森林組合綱領採択される～第26回全国森林組合大会～

平成21年11月25日に開催された第26回全国森林組合大会において、森林組合綱領—私たちの森林組合のめざすもの—が制定されました。

併せて、森林組合系統統一呼称（JForest）、ロゴマークも決定しました。

今後は、この綱領及び呼称の下、21世紀の森林・林業・山村を支える森林組合組織に生まれ変わるとの決意が確認されました。

森林組合系統統一呼称・ロゴデザイン  
JForest（ジェイフォレスト）



### JForest 森林組合綱領

—私たち森林組合のめざすもの—

私たち森林組合は、地域の森林管理主体として、地域の森林を協働の力で育て守り続け、森林環境保全と林業発展を通じて、地球温暖化防止へ貢献するとともに、水源の保全、国土の安全、健全な森林環境と良質の木材を国民へ提供しながら、健康で安心、豊かな住生活を支えていくことを使命とします。

私たち森林組合の組合員・役職員は、こうした使命を自覚し、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主・自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連帯し、平和とより民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、私たち森林組合の組合員・役職員は、次のことを宣誓し、責任を持って行動します。

- 一、<sup>もり</sup>森林の恵みに感謝し、地球環境保全のため、豊かな<sup>もり</sup>森林を未来に引き継ごう。
- 一、<sup>もり</sup>森林を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
- 一、JForest森林組合への積極的な参加によって、協働の力を発揮しよう。
- 一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
- 一、協働の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追求しよう。

### 家周りの作業でお困りのときはお手伝いいたします

家周りの危険の伴う作業について、自分ではできなくてお困りのときは森林組合へご相談ください。

- 危険を伴う草刈り
- 蜂の巣の駆除
- 立木・竹林等の処理
- その他

# 三瓶こもれびの広場



子どもから大人まで楽しめる  
**木工体験コーナー**



親子活動、体験学習など  
団体でのご利用も受付けて  
おります。

こま、キーホルダー、パズル  
輪ゴム鉄砲、魚釣り、小物入れ  
本立て、写真立てなどオリジ  
ナル作品をつくろう!!



各種教室も開催しています

- ・木工教室
- ・草木染教室
- ・木工るくる教室
- ・トールペイント教室

**会員募集**

木工館を自分の工房にして、ものづ  
くりを楽しみませんか。

**展示・販売**

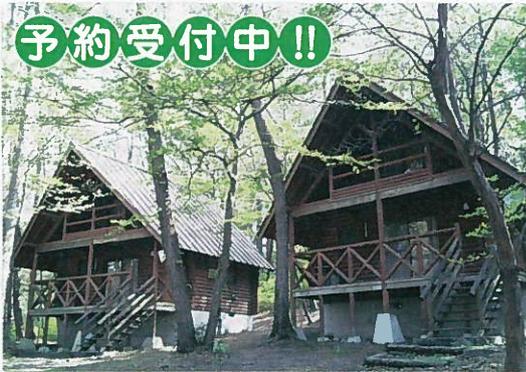
教室作品の展示や木工品・草木染の  
材料などの販売。

**オーダー品**

木材の加工、木工品の注文も承っ  
ております。

## 宿泊施設市営ケビン

予約受付中!!

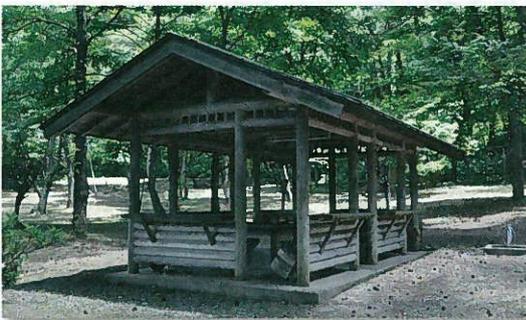


タイプ	人員	基本料金	棟数	設 備
A	6人	7,500円	2棟	温水シャワー・トイレ・洗面所・キッチン
B	4人	7,000円	3棟	温水シャワー・トイレ・洗面所・キッチン
C	6人	8,500円	2棟	エアコン・バストイレ・洗面所・キッチン

※上記料金の他に、利用料一人当たり350円をいただきます。  
 ※その他の備品：冷蔵庫・炊飯器・電気コンロ・炊事道具・食器・寝  
 具は全ての棟に完備しています。  
 ※チェックイン PM3:00～PM5:00  
 チェックアウト AM9:00～AM10:00

## バーベキュー棟

全4棟（屋根付・1棟に2炉）



多少の雨でも利用可能なバーベキューハウス  
1炉を6名様でご利用いただけます。

- 炉の貸し出し（炭・鉄板付）
- 料金 1炉 3,150円
- 営業時間 11:00～16:00
- 期間 3月～11月

※ケビンの宿泊者のみ17:00～20:00 使用可

お問い合わせ・ケビン受付

三瓶こもれびの広場・木工館  
TEL・FAX (0854) 86-0182

〒694-0002 島根県大田市山口町山口口6138-1  
<http://www.ginzan-tv.ne.jp/~mokokan/>